

聖書日課 『からし種』 2020.10.18-10.25

<p>10月18日 (日) 詩編 72編</p>	<p>「主なる神をたたえよ／イスラエルの神／ただひとり驚くべき御業を行う方を。栄光に輝く御名をとこしえにたたえよ／栄光は全地を満たす。アーメン、アーメン」(18-19節)。イスラエルの王ソロモンのための祈りが綴られる。国を治める者の知恵がここに記されている。コロナの中で命の選択が行われる中で、為政者が平和の選択をすることができますように。</p>
<p>19日 (月) 詩編 73編</p>	<p>「わたしは愚かで知識がなく／あなたに対して獣のようにふるまっていた。あなたがわたしの右の手を取ってくださるので／常にわたしは御もとにとどまることができる」(22-23節)。主の前では無知で分別なく生きるわたしを主なる神は今日も生かしてくださっている。主がくださった命の意味を考えつつ今週も主の働きに招かれていることを覚えて歩みたい。</p>
<p>20日 (火) 詩編 74編</p>	<p>「契約を顧みてください。地の暗い隅々には／不法の住みかがひしめいています。どうか、虐げられた人が再び辱められることなく／貧しい人、乏しい人が／御名を賛美することができますように」(20-21節)。メシア(救い主)の到来を待ち望むイスラエルの祈り。権力者の力に翻弄される民の叫びに今日も主が耳を傾け、力を与えてくださることを覚えて。</p>
<p>21日 (水) 詩編 75編</p>	<p>「人を高く上げるものは／東からも西からも、荒れ野からも来ません。神が必ず裁きを行い／ある者を低く、ある者を高くなさるでしょう」(7-8節)。主の救いは、人からは来ない。主の救いはシャローム(平安)の裁きによってわたしたちに与えられる。主の救いは「谷は身を起こし、山と丘は身を低くされる」(イザヤ40章)ようにもたらされる。</p>

メール配信登録メール senfkorn.obc@gmail.com

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2020.10.18-10.25

<p>22日 (木)</p> <p>詩編 76編</p>	<p>「神の幕屋はサレムにあり／神の宮はシオンにある。そこにおいて、神は弓と火の矢を砕き／盾と剣を、そして戦いを砕かれる」(3-4節)。イスラエルの民は、周りの大国の力に圧倒されながらも主なる神に信頼して歩んできた。主の平和は、力を砕き与えられる。主の平和の中で、わたしたちは礼拝をささげ、その御名を賛美することができますように。</p>
<p>23日 (金)</p> <p>詩編 77編</p>	<p>「あなたの道は海の中にあり／あなたの通られる道は大水の中にある。あなたの踏み行(ゆ)かれる跡を知る者はない。」(20節)。主の道はわたしたちの目にはわからない。モーセたちが海の中を歩いてエジプト兵から逃れたように、主が示してくださる道はわたしたちの予想を超えたところに備えられている。主の道には備えがあることを期待して歩みたい。</p>
<p>24日 (土)</p> <p>詩編 78編</p>	<p>「『神は岩、いと高き神は贖い主』と唱えながらも・・・彼らの心は神に対して確かに定まらず／その契約に忠実ではなかった。」(35-37節)。神の前に礼拝をささげながらも、神の御心に反抗する歩みを繰り返すわたしたち。十字架のイエス・キリストがわたしたちの命を贖い、わたしたちの神との正しい関係へと導いてくださってる。</p>
<p>25日 (日)</p> <p>詩編 79編</p>	<p>「どうか、わたしたちの昔の悪に御心を留めず、御憐れみを速やかに差し向けてください」(8節)。廃墟と化したエルサレムの都を前に、詩人は敵への「報復」を激しく願い祈る。果たして神はこのような願いを受け入れられるのだろうか。神の憐れみの答えは主イエスの十字架として示され、神の慈しみを仰ぐ生き方に私たちを招き入れてくださったことを覚えたい。</p>